



けやき

令和3年1月6日
東村山市立東村山第六中学校
学校だより 1月号
東村山市秋津町2-29-14
発行者 校長 大堀 浩

「年の初めにあって」

校長 大堀 浩

◆「母なる大地のふところに…」と、第3学年生徒による「大地讃頌」の歌声がきこえてきます。2学期最終日には、第3学年合唱コンクール実行委員の決意を聞きました。卒業に向けて何とかやり遂げたいという強い意志が感じられました。

合唱コンクールを実施することができるよう、10月から3月に延期して準備をしてきました。しかし、新型コロナウイルス感染症は収束せず、医療体制も逼迫してきております。医療従事者の皆様には心より感謝申し上げます。校内では冷え込む日でも、「学校の『新しい日常』」に対応した教育活動」を実施し、手洗いや消毒、換気等を励行し、感染防止に努力しております。

合唱では、マスクをしたまま1～2mの間隔をあけて、同じ方向を向いての歌唱となります。その中で、今までのようなレベルの高い合唱をつくりあげるのは非常に困難な状況です。

そこで、検討した結果、生徒全員が公共交通機関を利用して、狭山市市民会館のホールを利用することは行わないことといたします。また、審査をして順位を付け、表彰することも行わないことといたしました。何とか、卒業式や来年度につながる合唱を、六

中の伝統として引き継ぎ、発表する機会を設ける予定です。

配付いたしました通知文も御覧くださいますようお願いいたします。

◆「1年の計は元旦にあり」といいます。コロナ禍により旅行や親戚との行き来は控えざるを得なかったかもしれませんが、年末・年始はゆっくりと家族と過ごし、生徒の皆さんは新しい年にやるべきことを思い描いて今年の目標を考えたことでしょう。今年の目標を紙に書いて掲示し、実行・実現していきましょう。3学期は次の学年の「0学期」とも言われるように、進級・進学準備の学期になります。意識としては、もう次の学年になったつもりで過ごす必要があります。特に、第3学年生徒は、上級学校に進学したり、社会に出たりするという大きな節目を迎えます。4月になってあわてないように、今からできることを準備するとともに、心構えをつくっておく必要があります。保護者の皆様の御協力も引き続きお願いいたします。

◆令和3年も、東村山第六中学校の生徒や保護者・地域の方々にとって素晴らしい年となることを祈念申し上げます。